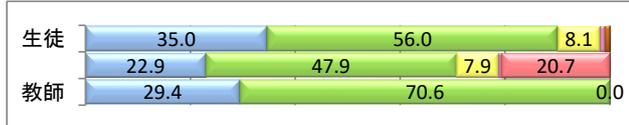


# 令和7年度 学校評価 アンケートの結果と評価分析

- 1 よくあてはまる ■      2 まああてはまる ■      3 あまりあてはまらない ■  
 4 まったくあてはまらない ■      5 判断しかねる ■

- 質問1 学校は、わかりやすい授業が多いと思う。 (生徒)  
 学校は、わかりやすい授業作りなど学習内容の定着に努めていると思う。 (保護者)  
 本校では、わかりやすい授業作りなど学習内容の定着に努めていると思う。 (教師)

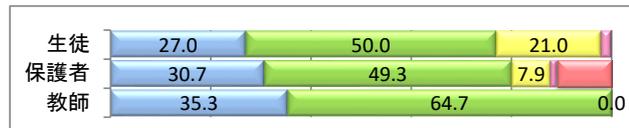
	1	2	3	4	5
生徒	35.0	56.0	8.1	1.0	*
保護者	22.9	47.9	7.9	0.7	20.7
教師	29.4	70.6	0.0	0.0	*



昨年度と比較して、生徒・保護者とも同程度の評価であった。わかりやすい授業づくりに向けて、教員の研修やICT機器の活用、複数教師によるTT指導などが、一定の成果を収めていると考えられる。保護者においては、学校の授業を含めた学校の様子などを見えにくい部分があるようなので、授業参観などでできるだけ多くの保護者の方に学校に足を運んでいただく機会を増やすことも検討していかなければならない。また、教員がより授業を改善しようとする姿勢を今後も大切にし、次年度以降も生徒が「わかった・できた」を実感できる授業づくりに向けて研鑽を積んでいただきたい。

- 質問2 学習の努力が認められ、それが成績にも表れていると思う。 (生徒・保護者)  
 本校では、生徒の努力を認め、適切な評価に努めていると思う。 (教師)

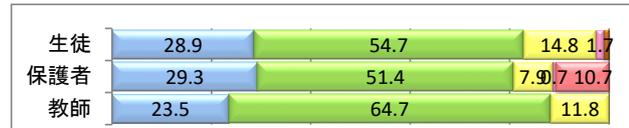
	1	2	3	4	5
生徒	27.0	50.0	21.0	2.1	*
保護者	30.7	49.3	7.9	1.4	10.7
教師	35.3	64.7	0.0	0.0	*



昨年度から2学期制に移行し、5月に学校教育課程説明会を行った。定期テストの実施時期と回数についてはある程度理解していただいている。ただし、生徒・保護者共に一定数の否定的意見が見られることは、評価方法が十分に伝わっておらず、よく理解されていないことも一因にあると考えられるので、各教科の授業を通して生徒に評価方法の徹底を図っていきたい。更に、評価する側としては、評価内容に関してきちんと説明し納得してもらえる資料の収集・整理が不可欠である。来年度も継続して、より丁寧な見取り方を大切にしていきたいためにも各教科で十分に検討していくことが必要である。5月に行われる学年PTA集会等で保護者に今年度同様に周知することも必要と考える。

- 質問3 学校の設備はとても整備されていると思う。 (生徒)  
 学校の教育設備は十分に整備されていると思う。 (保護者・教師)

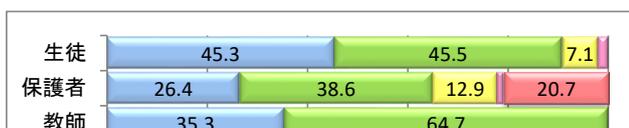
	1	2	3	4	5
生徒	28.9	54.7	14.8	1.7	*
保護者	29.3	51.4	7.9	0.7	10.7
教師	23.5	64.7	11.8	0.0	*



「GIGAスクール構想」に向けた取組が本格化し、ネット環境整備等を行った。また、今年度も用務員を中心に施設整備を行っているが、校舎の老朽化が進んでおり、痛んできている部分は目立っている。また、2学期からはエアコンも稼働し普通教室での学習環境は整いつつある。一方で、可動式エアコン等を特別教室に設置したが、暑さ対策としてはまだ十分とはいえない環境がある。また、トイレのにおい対策等については、修繕も含めて要望を出し続けている状態である。学校現場としては、限られた予算の中で、より良い学習環境の整備を今後も継続して行うことが必要である。

- 質問4 学校の進路の学習は自分の将来に役立つと思う。 (生徒)  
 学校は、きめ細かい進路指導がされていると思う。 (保護者)  
 本校では、適切な進路指導に努めていると思う。 (教師)

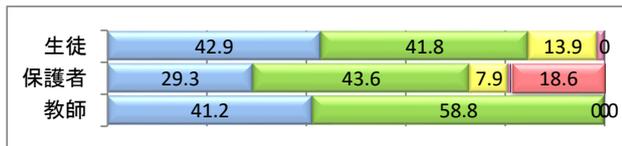
	1	2	3	4	5
生徒	45.3	45.5	7.1	2.1	*
保護者	26.4	38.6	12.9	1.4	20.7
教師	35.3	64.7	0.0	0.0	*



今年度は、各学年で「キャリア(生き方)」に関する総合の学習を行うことができた。各学年の発達段階に応じての内容であったことから、生徒自身が自分の「生き方」について考えるきっかけとなった。また、きめ細やかな情報提供や、進路説明会の開催、学級での指導等を行っており、概ね高い評価をいただいているが、保護者に向けて具体的な指導内容を情報発信することが必要である。進路だよりや学年だより等を有効に活用し、3年間を見通した進路指導や教育相談を早い時期から行い、より充実した学校生活を送るための一助になればと考える。

質問5 総合的な学習の時間・学活・道徳は自分のためになっていると思う。(生徒)  
 総合的な学習の時間・学活・道徳の時間は生徒にとって役立っていると思う。(保護者)  
 本校では、総合的な学習の時間・学活・道徳の時間が適正に進められていると思う(教師)

	1	2	3	4	5
生徒	42.9	41.8	13.9	1.5	*
保護者	29.3	43.6	7.9	0.7	18.6
教師	41.2	58.8	0.0	0.0	*



8割を超える生徒が肯定的な評価であるが、保護者にどのような内容で総合的な学習の時間・学活・道徳等が行われているのかが十分に伝わっていないのが続いている状況である。総合的「キャリア(生き方)」に関わる外部講師の講演等を保護者にも参加し聞いていただくことも検討していきたい。特別な教科・道徳の取扱、総合的な学習の時間の内容の精査と適正な運用を進めることが今後も重要である。特に、総合的な学習の時間においては、今年度の内容をベースに3年間を通じてのカリキュラムを整え、来年度以降も継続して行うことができるようにしていくことが重要である。

質問6 学校では、人権や命の大切さ、思いやりや社会のルールについて適切に指導していると思う。(生徒・保護者・教師)

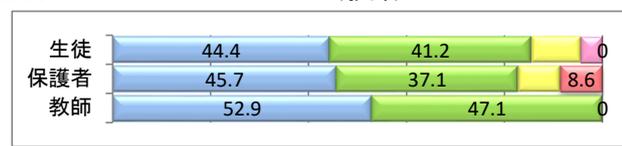
	1	2	3	4	5
生徒	50.4	41.4	7.3	1.0	*
保護者	34.3	42.1	8.6	1.4	13.6
教師	41.2	58.8	0.0	0.0	*



生徒・保護者共に、昨年度と同程度の評価である。社会が多様化する中、マイノリティへの学習等を通し、様々な価値観を受け入れる姿勢を養うための指導の充実を目指している。また社会のルールをしっかり身に付けられるよう、外部や地域の方を講師にお招きするなど視野に入れ更なる指導に努めたい。

質問7 先生方は、自分の気持ちを理解して相談にのってくれていると思う。(生徒)  
 先生方は、親身になって相談にのってくれていると思う。(保護者)  
 本校では、きめ細かい相談活動を行っていると思う。(教師)

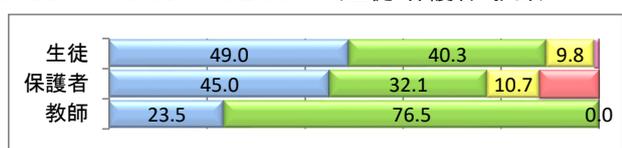
	1	2	3	4	5
生徒	44.4	41.2	10.1	4.4	*
保護者	45.7	37.1	8.6	0.0	8.6
教師	52.9	47.1	0.0	0.0	*



生徒・保護者とも肯定的な回答が多いが、生徒の15%程度が不十分だと感じていることに焦点を当てたい。担任・副担任・教科担任と、極力多くの視点から子どもたちをより丁寧にケアすることが求められる。そのためにも、日常の何気ない言葉掛けなどをより丁寧に行い、また、定期的な教育相談活動にとどまらず、朝行っている『シャボテンログ』や『悩みいじめアンケート』なども有効に使いながら、生徒が気軽に相談ができる環境を整えることも必要である。

質問8 学校は、生徒の正しい行動をほめ、間違っ行動はしっかり指導していると思う。(生徒・保護者・教師)

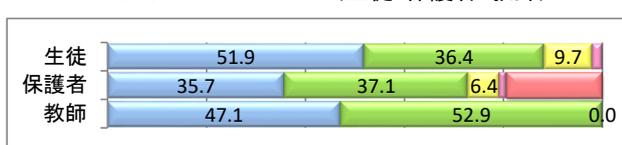
	1	2	3	4	5
生徒	49.0	40.3	9.8	1.0	*
保護者	45.0	32.1	10.7	0.0	12.1
教師	23.5	76.5	0.0	0.0	*



概ね、学校としての姿勢に一定の評価が示されていると考えられる。今後は、更に情報発信に努め、学校と保護者の指導方針の共有を図りながら、子どもたちのよりよい成長に寄与できるよう、今後も愛情をもって粘り強く指導にあたりたい。

質問9 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいると思う。(生徒・保護者・教師)

	1	2	3	4	5
生徒	51.9	36.4	9.7	2.1	*
保護者	35.7	37.1	6.4	1.4	19.3
教師	47.1	52.9	0.0	0.0	*



以前、この項目では生徒の評価が低く、潜在的な「いじめ」「暴力」などの存在を意味していると考えたが、ここ数年、概ね改善されてきており、昨年度と同程度の評価であった。今後も、日頃からの生徒・教師の関わりや教師間の連携、家庭との情報共有から、早期発見・早期解決を目指した取組を続けていき、誰もが安心して安全に生活できる学校づくりを進めていきたい。また、いじめ防止対策委員会を定期的に開くことで、学年間での情報共有を密にしていきたい。

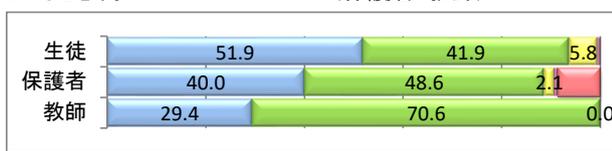
質問10 学校では、安全や健康指導をしっかりと指導してくれていると思う。

(生徒)

学校では、安全や健康指導にしっかりと取り組んでいると思う。

(保護者・教師)

	1	2	3	4	5
生徒	51.9	41.9	5.8	0.6	*
保護者	40.0	48.6	2.1	0.7	8.6
教師	29.4	70.6	0.0	0.0	*



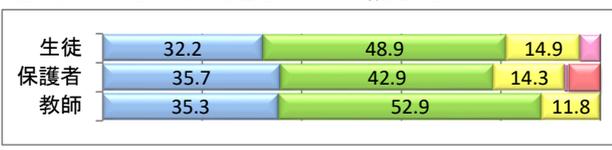
本年度も、感染症対策や食育指導など、できる限り努力してきた。また、2年生においては例年行っている『薬物乱用教室』の実施や、保健体育科授業で『心肺蘇生』の実地練習を取り入れた。今後もより安全で健康な生活が送れるよう、外部の方の助言もいただきながら今後も改善していきたい。

質問11 学校・生活の様子は、学校から家にきちんと伝わっていると思う。

(生徒)

学校からは、学校の様子など必要な情報伝達が十分にされていると思う。(保護者・教師)

	1	2	3	4	5
生徒	32.2	48.9	14.9	4.0	*
保護者	35.7	42.9	14.3	0.7	6.4
教師	35.3	52.9	11.8	0.0	*

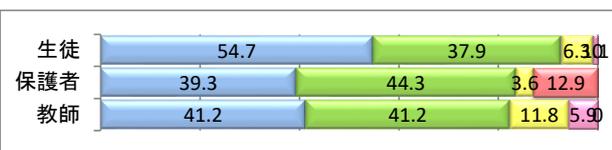


HPの更新などの情報発信や、プリント等のデジタル化推進を図り、保護者の手元に確実に届くよう取り組んでいるが、否定的な意見もいただいている。重要なプリント配布時にはHPやすぐで連絡しており、80%程度の保護者の方からは肯定的な回答を得ることができている。来年度も引き続き、できるだけお便りやアンケート等のペーパーレス化を図りながらも、紙媒体で情報発信するメリットも考えながら、効率よく情報を伝えていきたいと考える。

質問12 学校では、係活動や生徒会活動・学校行事の指導に力を入れていると思う。

(生徒・保護者・教師)

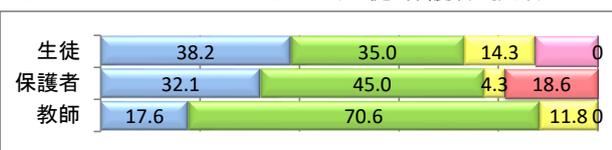
	1	2	3	4	5
生徒	54.7	37.9	6.3	1.1	*
保護者	39.3	44.3	3.6	0.0	12.9
教師	41.2	41.2	11.8	5.9	*



特別活動や生徒会活動、運動会や創西祭などの行事を、安全対策を行いながら実施した。特に、昨年度同様に運動会では種目を精選し生徒の健康管理を注意をはらいながら行い、生徒が生き生きと活動する姿を目の当たりにすることができた。来年度も実施時期と方法を十分に吟味し、生徒が自主的に活動して成長できる場を設定していきたい。

質問13 本校の生徒(自分)は、生徒会・委員会・係活動などに積極的に参加していると思う。(生徒・保護者・教師)

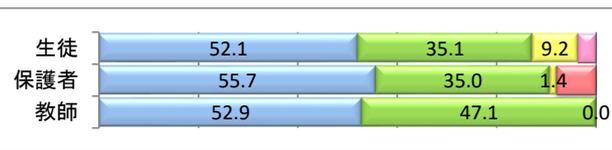
	1	2	3	4	5
生徒	38.2	35.0	14.3	12.6	*
保護者	32.1	45.0	4.3	0.0	18.6
教師	17.6	70.6	11.8	0.0	*



上記質問12と同様に、活動時間が十分確保できないという課題がある。限られた時間の中で、何ができるのかを考え、身に付けさせたい力を明確にする必要がある。今後も時間の確保が難しくなる中で、伸ばすべき力を再考し活動を精査する中で、生徒が主体的に活動でき自己有用感を高める機会を増やしていきたい。

質問14 本校の生徒(自分)は、創西祭などの学校行事に積極的に参加していると思う。(生徒・保護者・教師)

	1	2	3	4	5
生徒	52.1	35.1	9.2	3.7	*
保護者	55.7	35.0	1.4	0.0	7.9
教師	52.9	47.1	0.0	0.0	*

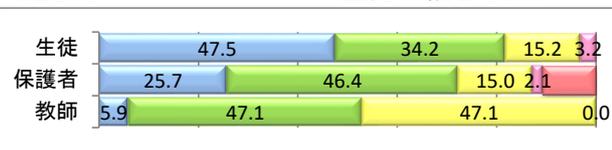


行事へ向かう本校の生徒の姿勢に対する評価は、生徒・保護者・教師とも非常に高いレベルで推移している。生徒が自分の手で何かを創り上げたという達成感を実感できる取組を、限られた時間の中でさらに充実した内容になるように工夫改善を重ねていく。また、今年度行った『運動会』や『創西祭』の内容をより精査することで、持続可能な学校行事の運営を行っていきたい。

質問15 本校の生徒(自分)は、あいさつをきちんとしていると思う。

(生徒・保護者・教師)

	1	2	3	4	5
生徒	47.5	34.2	15.2	3.2	*
保護者	25.7	46.4	15.0	2.1	10.7
教師	5.9	47.1	47.1	0.0	*

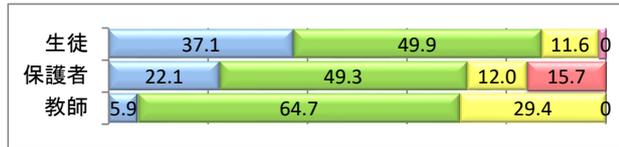


ここ数年、この項目については、生徒・保護者と教師の感じ方に差が生じている。「自分はあいさつをしている」と思っている生徒は70%近い。生徒は、自分自身の行動について答えており、多くの生徒が「きちんとしている」と評価している。それに対して教師は、「3・4」を答えた生徒も含め全校生徒を対象にしているため、このような数値になっていると考えられる。自分自身はできているという視点を大切にしながらも、学年を越え学校全体、また地域で関わる方に対しても、生徒が自分から進んであいさつができるような生徒会活動を取り入れていく必要がある。

質問16 本校の生徒(自分)は、時間を守って学校生活を過ごしていると思う。

(生徒・保護者・教師)

	1	2	3	4	5
生徒	37.1	49.9	11.6	1.5	*
保護者	22.1	49.3	12.0	0.0	15.7
教師	5.9	64.7	29.4	0.0	*

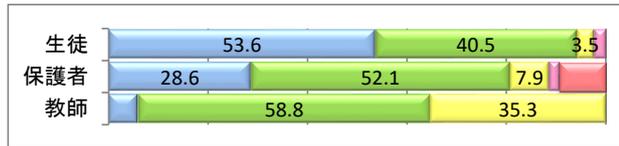


質問15と同様に、「自分はできている」と思っている生徒は90%近い。生徒は、自分自身の行動について答えており、多くの生徒が「きちんとできている」と評価している。それに対して教師は、「3・4」を答えた生徒も含め全校生徒を対象にしているため、このような数値になっていると考えられる。教師の見方として、朝の登校時間がギリギリであったり、一部の時間を守れない生徒に対する評価が、全体の評価を下げている面もあると思われる。今後も折にふれて時間を守ることの大切さを指導すると同時に、委員会活動等でも具体的な活動について検討していきたい。

質問17 本校の生徒(自分)は、きちんとした身なりで学校生活を過ごしていると思う。

(生徒・保護者・教師)

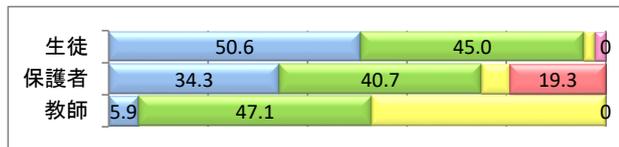
	1	2	3	4	5
生徒	53.6	40.5	3.5	2.4	*
保護者	28.6	52.1	7.9	2.1	9.3
教師	5.9	58.8	35.3	0.0	*



質問15・16と同様の見解である。「自分はできている」と思っている生徒は90%近い。生徒は、自分自身の行動について答えており、多くの生徒が「きちんとできている」と評価している。それに対して教師は、「3・4」を答えた生徒も含め全校生徒を対象にしているため、このような数値になっていると考えられる。「個の自由」と「わがまま」の境界線があいまいになる中、きまりの十分な精査とともに「自律心」を養う指導が必要だと考える。委員会活動に生徒が自分たちで考え生活をよくしていこうとする取組を盛り込んでいきたいと考える。また、『個人』としてできているが『全体』としてはどのような状態であるのかも考えさせ、集団として向上していく機会を設けるようにしていきたい。

質問18 本校の生徒(自分)は、教室や学校設備をきれいに使用するように心がけていると思う。(生徒・保護者・教師)

	1	2	3	4	5
生徒	50.6	45.0	2.2	2.2	*
保護者	34.3	40.7	5.7	0.0	19.3
教師	5.9	47.1	47.1	0.0	*

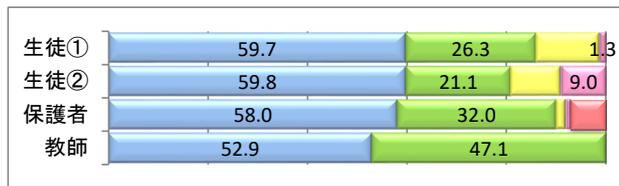


今年度も長期休業中に教室の棚や壁などを塗り替える作業を行った。教室内が以前より明るくなり、破損等も減ってきた状況である。しかし、過去の破損等がまだ残っているところもあり、修繕に努めているが全ての補修を完了させることは難しい。また、トイレのにおいや床などの件は、保護者からも意見をいただいております。市教委に申請を挙げ続けている。環境整備をさらに充実させた上で、しっかりと教室や施設を大切に使う指導を続けていかなければならない。

質問19 本校の生徒(自分・自分の子供)は、部活動に楽しく参加していると思う。(生徒①・保護者・教師)

自分は、部活動を通して心身ともに成長していると思う。(生徒②)

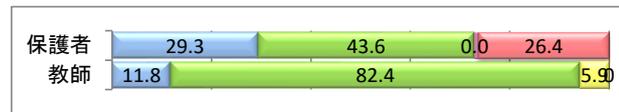
	1	2	3	4	5
生徒①	59.7	26.3	12.8	1.3	*
生徒②	59.8	21.1	10.1	9.0	*
保護者	58.0	32.0	2.0	1.0	7.0
教師	52.9	47.1	0.0	0.0	*



昨年度と同程度の評価ではあるが減少が見られた。部活動に居場所を見いだしている生徒も多く、今後も多くの教師の協力が必要と考える。基本的な生活習慣の確立や、日常的なあいさつ・感謝の意など学ぶことの大切さは、生徒・保護者とも十分感じていると思われる。部活動の地域移行の話題もある中、顧問だけに限らず、学校全体でサポートしていく体制を整えていくことが今後の課題である。

質問20 本校のPTA活動は効果的に進められていると思う。(保護者・教師)

	1	2	3	4	5
保護者	29.3	43.6	0.0	0.7	26.4
教師	11.8	82.4	5.9	0.0	*



より効果的で負担の少ないPTA活動を目指して規約等の改正を行い、できる範囲での活動を優先してきた。学級PTAや学年PTAなど実質的な活動を行うことが難しく、保護者の方にとってはPTAがどのような活動をしているのかを知っていただくことが難しかった。ここ数年、試行錯誤しながらの活動が多かったことあるので、来年度も引き続きPTAが実際にどのような活動をしているのかを明確にしていけることが必要である。また、茨戸小学校・篠路西小学校とも連携を図りながら持続可能なPTA活動を推進していく必要がある。